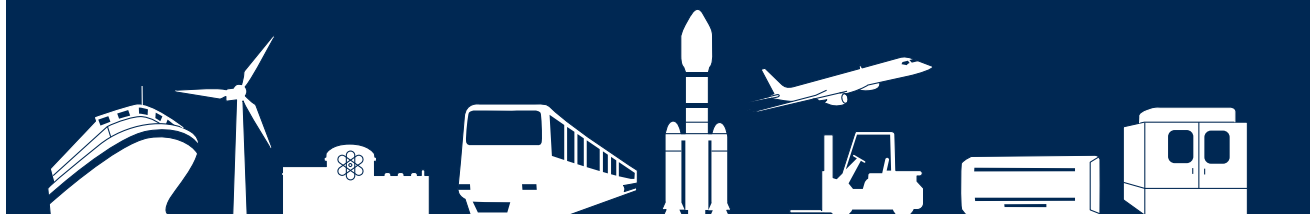


平成 25 年度

中間報告書

(第1四半期・第2四半期)



証券コード 7011

 **三菱重工**

この星に、たしかな未来を

概況

株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

平成25年度第2四半期連結累計期間の概要についてご報告申し上げます。

取締役会長 大宮英明

取締役社長 宮永俊一

1. 経済情勢

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国が緩やかに回復し、欧州に下げ止まりの兆しが見られましたが、東南アジア諸国の伸び悩みやインドの景気減速などの影響により、全体として弱い回復にとどまりました。

我が国経済は、経済財政政策の推進に伴い、輸出や設備投資に持ち直しの動きが見られ、製造業を中心に企業収益が改善するなど、緩やかな回復に向けた動きが持続しました。

2. 連結経営成績の概要

このような中、当第2四半期連結累計期間の当社連結業績は、受注高が1兆5,655億円、売上高は1兆5,055億円、営業利益は754億円、経常利益は598億円、税金等調整前四半期純利益は591億円となりました。また、税金等調整後の四半期純利益は328億円となりました。

当年度の中間配当金につきましては当第2四半期までの累計決算実績及び年間の業績見通しを考慮し、平成25年10月31日の取締役会の決議により、1株につき4円の配当とし、平成25年12月4日からお支払いを開始することとさせていただきます。

【連結受注高・売上高・営業利益・経常利益・四半期純利益】

	平成24年度 第2四半期累計期間 (平成24年4月1日～ 平成24年9月30日)	平成25年度 第2四半期累計期間 (平成25年4月1日～ 平成25年9月30日)	増減額
受注高	10,052億円	15,655億円	+5,603億円
売上高	13,254億円	15,055億円	+1,801億円
営業利益	472億円	754億円	+282億円
経常利益	304億円	598億円	+294億円
四半期純利益	191億円	328億円	+136億円

(表中の億円表示については、単位未満切捨て)

部門別の概況

受注高 15,655 億円



	(H24-2Q累計)	(H25-2Q累計)
■ 船舶・海洋	392億円	1,091億円
■ 原動機	2,989億円	5,267億円
■ 機械・鉄構	1,970億円	2,727億円
■ 航空・宇宙	1,586億円	2,690億円
■ 汎用機・特殊車両	1,816億円	2,410億円
■ その他	1,602億円	2,031億円
(うち冷熱)	787億円	967億円
(うち工機)	226億円	246億円
(うちその他)	588億円	818億円
消去または共通	△ 306億円	△ 562億円

■ 船舶・海洋

当期は、艦艇、海底広域研究船等を受注した結果、前年同期を上回った。

■ 原動機

台湾、タイでGTCCの大型案件を受注したことなどにより、前年同期を大幅に上回った。

■ 機械・鉄構

ロシアで大型案件を受注した化学プラントやコンプレッサ、環境設備等が増加したことにより、前年同期を上回った。

■ 航空・宇宙

民間航空機、防衛、宇宙の全てが増加したことにより、前年同期を上回った。

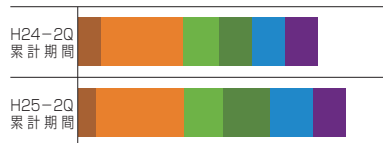
■ 汎用機・特殊車両

日本輸送機(株)との事業統合に伴うフォークリフトの増加や、中国・北米向けターボチャージャーの増加により、前年同期を上回った。

■ その他

(冷熱) 需要の伸長に伴う中国・アジア向け空調機、中南米向けカーエアコンの増加等により、前年同期を上回った。
(工機) 北米向け精機品の需要伸長、工作機械の市況底打ちにより、前年同期を上回った。

売上高 15,055 億円



	(H24-2Q累計)	(H25-2Q累計)
■ 船舶・海洋	1,326億円	1,038億円
■ 原動機	4,790億円	5,082億円
■ 機械・鉄構	2,041億円	2,287億円
■ 航空・宇宙	1,903億円	2,713億円
■ 汎用機・特殊車両	1,938億円	2,490億円
■ その他	1,870億円	1,917億円
(うち冷熱)	791億円	954億円
(うち工機)	283億円	245億円
(うちその他)	795億円	717億円
消去または共通	△ 616億円	△ 473億円

■ 船舶・海洋

当期は、資源探査船1隻、海洋研究船1隻、コンテナ船1隻、巡視船1隻、漁業取締船1隻の合計5隻を引渡した。

■ 原動機

GTCCの増加等により、前年同期を上回った。

■ 機械・鉄構

化学プラント、コンプレッサ等の増加により、前年同期を上回った。

■ 航空・宇宙

民間航空機、防衛、宇宙の全てが増加したことにより、前年同期を上回った。

■ 汎用機・特殊車両

日本輸送機(株)との事業統合に伴うフォークリフトの増加や、中国・北米向けターボチャージャーの増加により、前年同期を上回った。

■ その他

(冷熱) 需要の伸長に伴う中国・アジア向け空調機、中南米向けカーエアコンの増加等により、前年同期を上回った。
(工機) 前年度の厳しい受注環境が影響し、工作機械を中心に売上が減少し、前年同期を下回った。

営業利益 754 億円



	(H24-2Q累計)	(H25-2Q累計)
■ 船舶・海洋	△ 63億円	4億円
■ 原動機	436億円	368億円
■ 機械・鉄構	76億円	130億円
■ 航空・宇宙	7億円	187億円
■ 汎用機・特殊車両	49億円	92億円
■ その他	56億円	60億円
(うち冷熱)	△ 4億円	17億円
(うち工機)	22億円	△ 8億円
(うちその他)	38億円	51億円
消去または共通	△ 90億円	△ 89億円

■ 船舶・海洋

円安の進行等により前年同期から改善し、黒字化した。

■ 原動機

前年同期にGTCCやコンベンショナルで高採算案件が集中したことなどにより、前年同期を下回った。

■ 機械・鉄構

売上増加により、前年同期を上回った。

■ 航空・宇宙

生産効率の改善や円安効果により、民間航空機を中心に採算が改善し、前年同期を大幅に上回った。

■ 汎用機・特殊車両

フォークリフトの売上増加に加え、ターボチャージャーが好調に推移したことや円安効果により前年同期を上回った。

■ その他

(冷熱) 売上増加などにより、前年同期を上回った。
(工機) 売上減少などにより、前年同期を下回った。

1 : 表中の億円表示については、単位未満を切捨てています。

2 : GTCC : Gas Turbine Combined Cycle (ガスタービンコンバインドサイクル発電)

四半期連結決算の概要

四半期連結貸借対照表の要旨

(単位：億円)

資産の部	平成24年度末	平成25年度
	(平成25年3月31日現在)	第2四半期末 (平成25年9月30日現在)
流動資産	26,248	27,181
現金預金	3,283	2,844
売上債権	9,314	9,247
たな卸資産	10,098	11,079
繰延税金資産	1,389	1,444
その他流動資産	2,162	2,565
固定資産	13,102	14,279
有形固定資産	7,929	8,443
無形固定資産	292	606
投資その他の資産	4,881	5,229
投資有価証券	2,976	3,266
繰延税金資産	100	111
その他	1,804	1,851
資産合計	39,351	41,460

(平成24年度末) (平成25年度第2四半期末)

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 18,009億円 18,801億円

負債及び純資産の部

負債及び純資産の部	平成24年度末	平成25年度
	(平成25年3月31日現在)	第2四半期末 (平成25年9月30日現在)
流動負債	16,938	18,406
買入債務	6,634	6,889
短期借入金	3,041	3,705
前受金	4,273	4,520
その他流動負債	2,987	3,291
固定負債	8,110	7,910
社債	2,000	2,250
長期借入金	4,770	3,963
繰延税金負債	99	231
その他固定負債	1,240	1,466
負債合計	25,048	26,317
株主資本	13,655	13,814
資本金	2,656	2,656
資本剰余金	2,039	2,039
利益剰余金	9,013	9,171
自己株式	△ 53	△ 53
その他の包括利益累計額	130	577
その他有価証券評価差額金	309	490
繰延ヘッジ損益	1	△ 2
為替換算調整勘定	△ 180	89
新株予約権	22	25
少数株主持分	493	726
純資産合計	14,302	15,143
負債及び純資産合計	39,351	41,460

四半期連結損益計算書の要旨

(単位：億円)

	平成24年度	平成25年度
	第2四半期累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	第2四半期累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)
売上高	13,254	15,055
営業費用	12,781	14,301
営業利益	472	754
営業外収益	62	79
営業外費用	230	235
経常利益	304	598
特別利益	68	64
特別損失	95	71
税金等調整前四半期純利益	277	591
法人税等	84	256
少数株主利益	1	6
四半期純利益	191	328

(平成24年度第2四半期累計期間) (平成25年度第2四半期累計期間)

(注) 1株当たり四半期純利益 5円71銭 9円78銭

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：億円)

	平成24年度	平成25年度
	第2四半期累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	第2四半期累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,314	739
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 210	△ 1,063
財務活動によるキャッシュ・フロー	377	△ 44
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 46	△ 99
現金及び現金同等物の増減額	1,435	△ 468
現金及び現金同等物の期首残高	2,546	3,194
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	39
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,981	2,765

(表中の億円表示については、単位未満切捨て)

会社の概要

概要

社名	三菱重工業株式会社	資本金	265,608百万円 (平成25年9月30日現在)
本社	東京都港区港南二丁目16番5号 〒108-8215 電話番号03-6716-3111	従業員数	30,562名 連結：72,349名 (平成25年9月30日現在)
創立	明治17年7月7日	ホームページ	http://www.mhi.co.jp
設立	昭和25年1月11日		

役員

(平成25年10月1日現在)

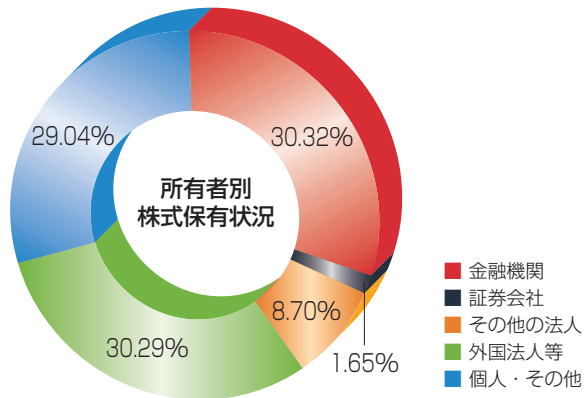
*取締役会長	大宮 英明	常勤監査役	矢 神 俊 郎
*取締役社長	宮 永 俊 一	常勤監査役	井 須 英 次
*取締役副社長執行役員	前 川 篤	監査役	畔 柳 信 雄
*取締役執行役員	原 壽	監査役	上 原 治 也
*取締役執行役員	阿 部 孝	監査役	伊 東 信 一 郎
*取締役執行役員	菱 川 明		
*取締役執行役員	西 澤 隆 人	常務執行役員	平 本 康 治
*取締役執行役員	和 仁 正 文	執行役員	堀 口 幸 範
*取締役執行役員	正 森 滋 郎	執行役員	山 崎 育 三
*取締役執行役員	鯨 井 洋 一	執行役員	馬 淵 洋 三
*取締役執行役員	野 島 龍 彦	執行役員	廣 江 陸 雄
*取締役執行役員	有 原 正 彦	執行役員	小 池 伸 彦
*取締役執行役員	水 谷 久 和	執行役員	門 上 英 仁
*取締役執行役員	兒 玉 敏 雄	執行役員	星 野 直 仁
*取締役執行役員	船 戸 崇	執行役員	岩 崎 啓 一 郎
取締役執行役員	樹 神 幸 夫	執行役員	橋 本 州 史
取締役	小 島 順 彦	執行役員	安 仲 輝 昌
取締役	クリスティーナ・アメージャン	執行役員	大 藤 健 司
取締役	津 田 廣 喜	執行役員	長 谷 川 浩 司
		執行役員	大 久 保 憲 一
		執行役員	西 妻 多 喜 男
		執行役員	石 井 善 宏
		執行役員	横 田 雅 雄
		執行役員	石 川 雅 浩
		執行役員	森 本 浩 通
		執行役員	加 藤 仁 介
		執行役員	名 山 理 介
		執行役員	柳 澤 順 三
		執行役員	御 子 田 隆 聡
		執行役員	内 田 芳 文
		執行役員	遠 藤 芳 文
		執行役員	石 井 泉 弘
		執行役員	尊 田 雅 弘

(*印は代表取締役)

株式の状況

(平成25年9月30日現在)

発行可能株式総数	6,000,000,000株
発行済株式総数	3,373,647,813株
株主数	291,905名



● 最近の主なニュースとお知らせ

大型クルーズ客船の建造に着手

当社は6月30日、長崎造船所において、世界最大のクルーズ客船会社、カーニバル社の欧州法人であるコスタ・グループ傘下のアイダ・クルーズ向け大型客船2隻の1番船の建造に着手しました。世界最先端の環境技術の粋を集めて建造する次世代クルーズ客船で、引き渡しはそれぞれ2015年3月、2016年3月の予定です。今後も、先進の環境技術を搭載し、燃費削減と環境負荷低減を実現する大型客船の受注に積極的に取り組んでいきます。



客船外観図（完成イメージ）

ターボチャージャーの生産能力を増強

ターボチャージャーは、燃費規制強化の広がりに伴い、ガソリン乗用車向けを中心として世界的な需要が急速に高まっています。当社はこのような市場動向を睨みながら、2015年までに年間生産能力を現状の580万台から890万台まで増強します。将来的には、年間1,000万台体制の構築に向けて更なる投資も計画中で、早期に乗用車用ターボチャージャーでの世界トップシェア獲得を目指していきます。（汎用機・特車事業本部）

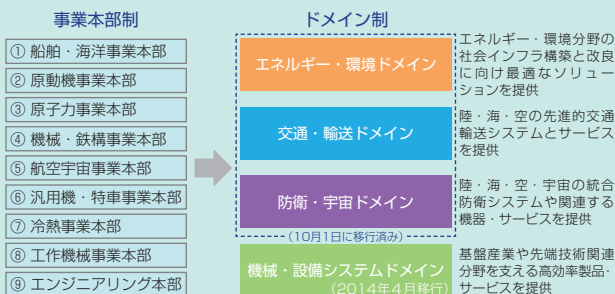


乗用車用ターボチャージャー

9事業本部を集約・再編して4事業ドメインの新組織に移行

グローバル市場での事業拡大、新事業開拓、M&Aを迅速に行う組織体制として、2013年10月1日よりドメイン制へ順次移行します。これまでの9事業本部を市場、顧客、コア技術、事業戦略の視点で再編成し、「エネルギー・環境」「交通・輸送」「防衛・宇宙」「機械・設備システム」の4つの事業ドメインとなります。

事業遂行部門を現状より大きな括りに再編することで、経営資源（リソース）活用自由度を広げ、成長性・収益性の高い分野へのタイムリーな投入を行って事業の成長・拡大を実現するとともに、広い領域をカバーする新たな組織のもとで、営業戦略や受注活動の広範囲かつ効率的な展開を実現し、グローバル市場で存在感のある企業を目指します。



● 当社施設の紹介～皆様のご来館をお待ちしております～

三菱みなとみらい技術館へのご招待

明日を担う青少年たちが科学技術に触れ、夢を膨らませる場となることを願い開設された三菱みなとみらい技術館では、実物・模型、映像やパネルなどで当社が手掛ける最先端の科学技術・製品をわかりやすく紹介しています。航空宇宙、環境・エネルギー、交通・輸送など6つのゾーンで参加体験型の展示をお楽しみください。

◆皆様のご来館をお待ちしております。

所在地：横浜市西区みなとみらい三丁目3番1号 三菱重工横浜ビル内
アクセス：みなとみらい線「みなとみらい」駅5番けやき通り口より徒歩3分
 JR根岸線／横浜市営地下鉄「桜木町」駅より徒歩8分
開館時間：午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
休館日：毎週月曜日（ただし、月曜日が祝日の場合は翌日、年末年始及び特定休館日（平成25年12月29日（日）～平成26年1月4日（土）、2月12日（水）～22日（土））
お問い合わせ：電話番号 045-200-7351
ホームページ：http://www.mhi.co.jp/museum/



三
菱
重
工
有
限
公
司
株
式
会
社
見
本
有
効
期
限
：
平
成
26
年
6
月
31
日
（
お
一
人
一
回
）
同
伴
者
の
ご
同
行
は
有
効
と
な
り
ま
せ
ん

工場見学会のご案内

第19回工場見学会を下記のとおり広島製作所（広島県広島市）で開催いたします。
多くの皆様のご応募をお待ちしております。

見学会概要

・見学場所 広島製作所（広島県広島市）

当製作所では、化学プラントで使用される遠心コンプレッサ及び駆動用タービンをはじめ、製鉄機械等の大型産業用機械の設計・製作や民間航空機用胴体パネルの組立等幅広い分野の製品を製作しています。また新分野では2008年以降「経済産業大臣賞」や「文部科学大臣賞 科学技術賞」等を受賞したがん放射線治療装置を開発するなど、未来の可能性にチャレンジし続けています。

・実施日時 平成26年3月7日（金） 13:00～17:30（予定）

・対象者 当社株主の方（同伴者1名様まで可）

・集合・解散 JR広島駅（予定）

・参加費 無料（ただし、集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担とさせていただきます。）



がん放射線治療装置



エチレンプラント用
コンプレッサ

応募要領

・応募方法 右記のとおり郵便はがきに必要な事項をご記入の上、ご応募ください。

・締切日 平成25年12月31日（火）（当日消印有効）

・募集人数 80名様（同伴者を含む）

※お申し込み多数の場合は、抽選とさせていただきます。

また、複数枚ご応募いただいた場合は1件とさせていただきます。

厳正な抽選の上、当選発表につきましては当選者へのご連絡（1月下旬発送予定）をもって代えさせていただきます。

その際、当日の運営等詳細を併せてご連絡いたします。

※ご応募により当社が取得する個人情報、本工場見学会を実施する上で必要な限りにおいてのみ使用いたします。

※ご見学時は、バスの乗り降りや階段の昇り降りがあり、1時間程度工場内をお歩きいただくこととなりますのでご了承ください。
なお、ご高齢の方及び小学生以下の方のご参加の際には、同伴者をお願いする場合があります。

郵便はがき

50円切手

1088215

三菱重工業(株)
社長室広報部 IRグループ
工場見学会係行

東京都港区港南
二丁目16番5号

あて名面

●郵便番号

●住所

●氏名
(ふりがなをご記入ください。)

●電話番号

●性別

●年齢

●同伴者の住所、
氏名(ふりがな)、
電話番号、性別、年齢

裏面

お問い合わせ先

三菱重工業株式会社 社長室広報部 IRグループ

電話番号：03-6716-3111（大代表）

8:45～17:30（土・日、祝祭日、当社休日を除く）

- 決算期……………3月31日
- 定時株主総会……………開催期 6月下旬
- 基準日……………定時株主総会議決権行使株主確定日
3月31日
期末配当金支払株主確定日
3月31日
中間配当金支払株主確定日
9月30日
その他の基準日
上記のほか必要ある場合は、取締役会の決議により
あらかじめ公告して設定
- 単元株式数……………1,000株

- 公告方法……………電子公告
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載して行います。
※電子公告掲載ウェブサイト
<http://www.mhi.co.jp>
- 株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
……………三菱UFJ信託銀行株式会社
- 上記連絡先……………東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先及び電話照会先)
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話番号 0120-232-711 (通話料無料)

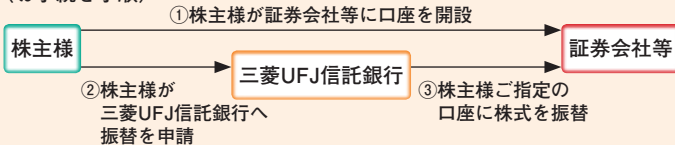
1. 株式に関する各種手続き

- (1) 株券電子化に伴い、株式に関する各種手続き（住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取・買増請求等）は、原則として、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録されている株式（証券会社等の口座に振替手続きがお済みでない株式）に関する各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行で承りますので、上記連絡先（郵便物送付先及び電話照会先）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り扱いいたします。

【ご注意】

特別口座に記録されている株式は、株式市場で売買できません。株式市場で売買するためには、証券会社等に口座を開設し、三菱UFJ信託銀行の特別口座から証券会社等の口座へ株式をお振り替えいただく必要があります。特別口座から証券会社等の口座への振替のお手続きにつきましても、三菱UFJ信託銀行で承ります。

（お手続き手順）



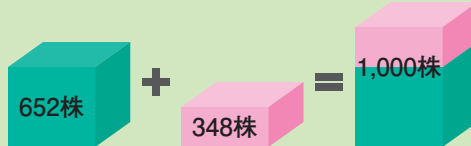
2. 単元未満（1,000株未満）株式をお持ちの株主様へ

単元未満株式はそのままでは株式市場で売買できませんが、法律上、単元未満株式の買取・買増制度が定められており、株主様は、当社に対して買取（株主様ご売却）あるいは買増（株主様ご購入）をご請求いただけます。お手続きについては、口座を開設されている口座管理機関（上記1. (1) 及び (2) ご参照）にお問い合わせください。なお、**買取請求、買増請求の手数料は無料となっております。**

①**買取制度**：ご所有の単元未満株式を当社が市場価格で買取らせていただく制度です。

②**買増制度**：ご所有の単元未満株式と併せて1単元株式（1,000株）となるように、株主様に当社から不足分の株式を市場価格でご購入（買増し）いただく制度です。

（具体例）株主様が現在652株をご所有の場合、当社を通じて348株をご購入いただき、合計1,000株とすることができます。



ホームページ「株主・投資家の皆様へ」はこちらから、
<http://www.mhi.co.jp/finance/index.html>

検索はこちらから、

三菱重工 株主 検索

なお、当社のホームページでは、「株主・投資家の皆様へ」以外でも、経営理念や製品についての詳しい説明を掲載していますので、是非ご覧ください。